

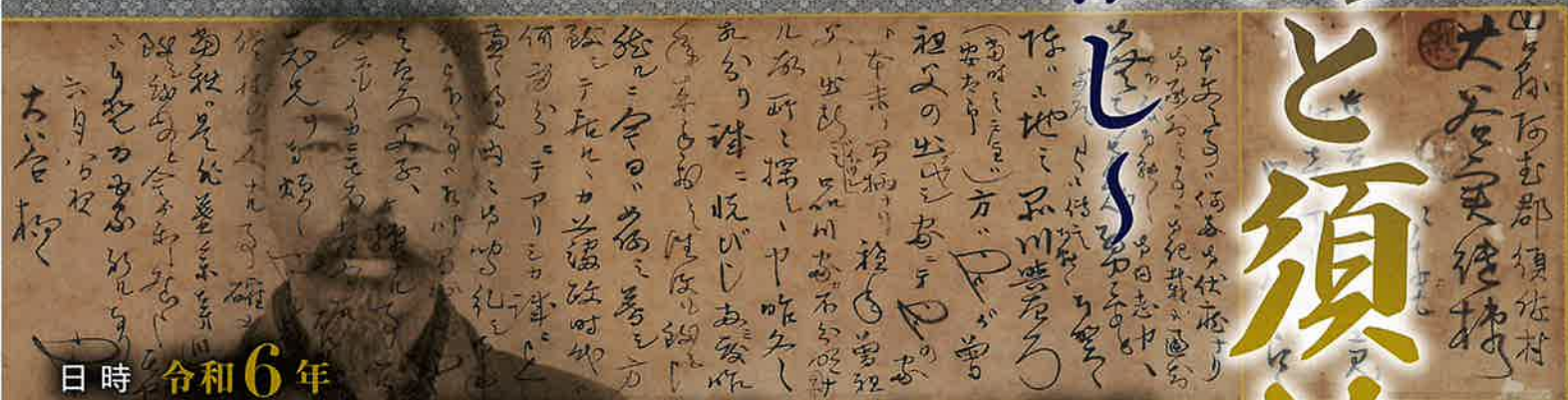
令和6年度 萩市立須佐歴史民俗資料館テーマ展

品川弥二郎

弥二郎の先祖さが

幕末期には松下村塾
メンバーの一員として活躍、
明治期には内務大臣をはじめ
数々の職を歴任した品川弥二郎。
明治25年の内務大臣辞任をきっかけに
自らのルーツを探し始めた
弥二郎がたどり着いたのは
須佐の地であった。

品川弥二郎写真（萩博物館所蔵）
大谷実雄宛品川弥二郎書状（大谷英之氏所蔵 当館寄託）



日時 令和6年

8月10日(土) ~ 10月14日(月・祝)

9:00~16:30 (最終入館時間16:00)

場所 萩市立須佐歴史民俗資料館「みこと館」

Instagramで
イベント情報を
発信しています



Check me!

主催 萩市
休館日 月曜日、祝日の翌日(月曜日が祝日のときは開館)
入館料 大人310円・小人150円
(団体20人以上大人210円・小人100円)
※大人(高校生以上) 小人(小中学生)
所在地 〒759-3411
山口県萩市大字須佐4441-10
☎08387-6-3916



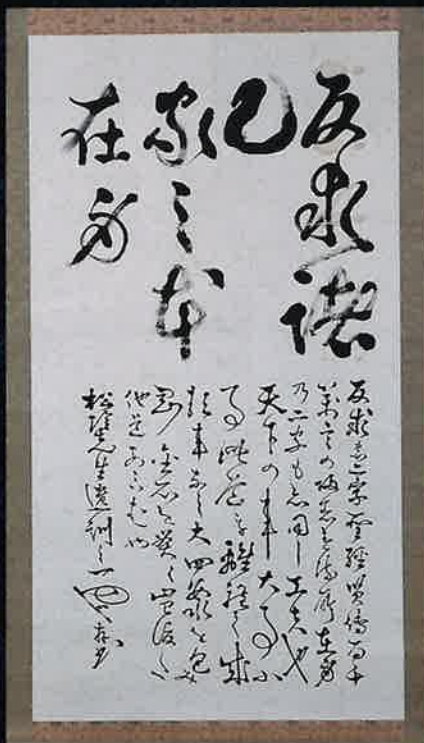
弥二郎が思いを馳せたのは 吉田松陰と松下村塾、 そして…

品川弥二郎は萩に生まれ、幕末には吉田松陰の門下生となり、尊王攘夷運動に奔走した。明治維新後には内務大臣をはじめ数々の役職に就くが、明治25年には選挙干渉をおこない、犠牲者を出した責任を取って辞任。そんな中、失意の弥二郎が気にかけてのが自らの出自である。曾祖父の出身が須佐である、と聞いていた弥二郎は、情報を求めて須佐の知り合いへ手紙を出し、ついに先祖を突き止める。

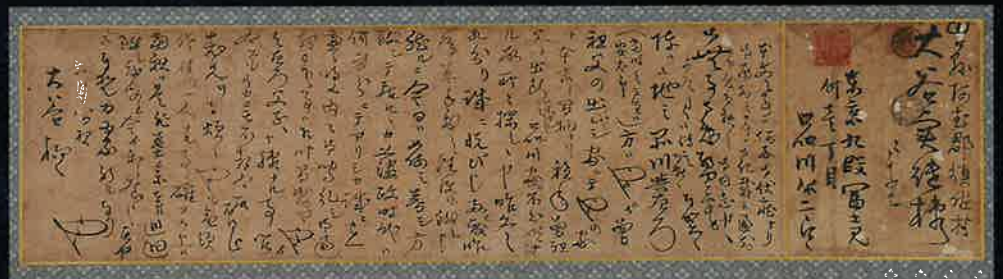
また、弥二郎は吉田松陰を敬愛してやまなかった。松陰の教えを後世に伝え、行動を共にした金子重輔の銅像を建立するなど、積極的に顕彰活動をおこなった。

自身の出自への思い、そして松陰への思い、弥二郎の情に厚い人柄が見て取れる古文書の数々をご覧ください。

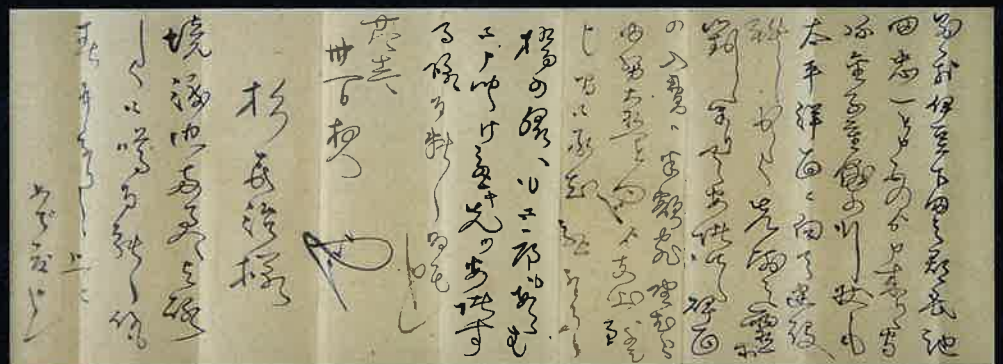
主な展示品



品川弥二郎書（吉田松陰遺訓）
中本剛造氏所蔵



大谷実継宛品川弥二郎書状
大谷英之氏所蔵（当館寄託）



杉民治宛品川弥二郎書状
萩博物館所蔵

ギャラリートークの
お知らせ

テーマ展初日となる8月10日(土曜日)10:30～・14:00～より、担当学芸員による
ギャラリートークをおこないます。(所要時間30分程度。事前申し込み不要。)